

第192回研究科委員会・第295回教員会議 議事要録

日時：令和元年11月27日(水) 13:30～14:30

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議題

研究科委員会

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和2年度大学院入試(2次募集) 合否判定について

回収資料に基づき、合否判定を行った。共生システム理工学専攻・博士前期課程・一般入試4名、社会人特別入試2名、外国人留学生特別入試2名、同・博士後期課程・一般入試1名、環境放射能学専攻・修士課程・外国人留学生特別入試1名の合格を決定した。

(2) 令和2年度共生システム理工学研究科(博士前期課程・修士課程・博士後期課程) 第3次学生募集の実施について

資料1に基づき第3次学生募集の実施が提案され、了承された。

2. その他

環境放射能研究所副所長より、環境放射能学専攻に博士課程を設置する件の現状について情報提供があった。10月30日に文部科学省で説明を行い、書類の準備等を開始することとなった。分野融合的であること、サイエンスコミュニケーションや実習をカリキュラムに取り入れていること、などが高く評価されている。教員ポストを2名要求する予定である。大学院受験者を確保し続けることが重要である。

教員会議

[審議事項]

1. 入学試験委員会

(1) 令和2年度推薦入試合否判定について

回収資料に基づき合否判定を行った。志願者・受験者30名より、20名を合格とすることが提案され了承された。合格者のうち県内出身者が10名であるなどの情報提供がなされた。

2. 基盤教育委員会

(1) 2019年度基盤教育科目等非常勤講師計画について(単発)

資料2に基づき提案され、了承された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 副学長候補適任者等の選挙日程について

資料3に基づき、選挙日程が報告された。

2. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金4件・共同研究1件・受託研究1件が報告された。

3. その他

入学試験委員長より、センター試験には本学類の多くの教員が監督者を委嘱される見込みであることが報告された。

教職課程委員(教員免許状更新推進室担当)より、2020年度の講習の担当者を募集する旨の報告があった。

全学入試改革WGメンバーより、数学および理科の出題体制を全学化する方向で検討している旨の情報提供があり、意見が求められた。

教務委員長より、シラバス修正への協力要請があった。2019年度入学生に対するコース配属ガイダンスを11月29日に行うことが報告された。過年度生のコース配属ルールに関して課題が残されていたが、実務的に困難な手法を除外していった結果、現行の(専攻配属ルールを踏襲し、すでに学修案内に掲載されている)方法とすることが報告された。細部の検討を継続し、次回以降の教員会議で確定する予定である。

教育研究評議会

第326回(11月26日開催)報告

[審議事項]

- (1) 特定年俸制の仕組みについて(案)(戻り報告)
5学類とも強い反対はなかった。出された意見や質問に対し、補足説明がなされた。
- (2) 2021(令和3)年度入試改革の残された課題について(戻り報告)
各学類から出された意見等に対し、回答・説明がなされた。
- (3) 2021(令和3)年度福島大学入学者選抜の概要について
英語の資格検定試験は活用しない。リーディングとリスニングの比率は4:1などを予告する。また、国語の記述式問題に対する国の動きが流動的なため、大学からの公表文書には含みを持たせる。11月27日にホームページで公開し、12月には高校教員説明会を実施する。

[報告事項]

- (1) 国立大学改革方針に基づく徹底対話に向けた調書骨子について
文科省との徹底対話に向けた調書の骨子が報告された。
- (2) 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について
評価結果が確定し公表された。
- (3) 令和元年度計画中間報告の総括について
中間報告の総括が行われた。
- (4) 標的型攻撃メール対応訓練の実施について
対応訓練が実施されることがアナウンスされた。適切に対応するよう要請があった。
- (5) 学長候補者の決定について
学長選考会議が学長候補者を選考したことが報告された。